



再選めざす 日本共産党
そねはじめレポート
2010年 5月6日発行 第15号

そねはじめ事務所
114-0032
北区中十条2-11-6
Tel: 3907-1135
Fax: 3906-3225

鳩山首相は普天間基地の公約破りを撤回せよ！ 憲法擁護で力あわせ子どもたちに平和な未来を

●安保改定から五十年

今年2010年は、かつて自民党政府が国民の反対運動をおし切って日米安保条約改定を強行してからちょうど50年です。以来半世紀、当時は考えられなかった変化が世界とアジアに起りました。

●改憲派衰退・9条擁護が若者の多数に

いま憲法9条と安保条約のどちらが日本の平和を守る力を持っているのか。国民の世論は、安保より憲法9条に軍配を上げているのではないのでしょうか。

改憲派の「新憲法制定議員同盟」に参加していた中曽根元首相など約150人の衆院議員は昨年の総選挙で大半が落選し今53人に過ぎません。朝日新聞調査で9条改定に反対が67%、若い世代ほど多い結果が出ました。

●安保の弊害がかつてなく明らかに

一方で安保条約は核兵器を通告なしに持ち込める核密約や沖縄の米軍基地問題などアメリカにばかり都合のよい実態が明らかになりました。沖縄でも徳之島でも、かつてない反対集会が行われ、日本のどこにも普天間基地を受入れる場所はないことを内外に示しました。しかし新政権は沖縄や全国の世論に全くついてこれない現状です。



北区の自衛隊赤羽駐屯地を全面解放させ実現したスポーツの森公園に立つそねはじめ前都議ら

米国民の99%は普天間問題を全く知らない

5月1日子どもの本・九条の会で講演した米国出身のアーサー・ビナードさんは、最近の米国内のテレビや新聞等マスコミには普天間基地も沖縄も全く出てこないこと。米国民の99%以上が普天間問題の事実さえ知らず、日本に不信を持つはずがない。

日本政府が「アメリカの不信」と言うのはごく一部米軍関係者のことに過ぎないと話し、会場は驚きに包まれました。

●鳩山総理が公約投げ捨てを自ら表明

沖縄を訪問した鳩山総理は、攻撃部隊であるアメリカ海兵隊を「抑止力」だから国外移転や県外全面移転は難しいと言明、自ら公約を投げ捨てました。みなさん、沖縄県民や日本中の普天間基地返還を願う世論よりも、ほんのみにぎりの米軍関係者の思惑ばかり優先する内閣では日本国民の平和と安全は任せられないのではないのでしょうか。